

川奈地区 津波対策 平面図

(参考)レベル1津波
必要防潮堤高さ
T.P.+5.5(6.5)m

ハード対策
・レベル1津波による浸水を防ぐための護岸整備
(かさ上げ)は実施しない

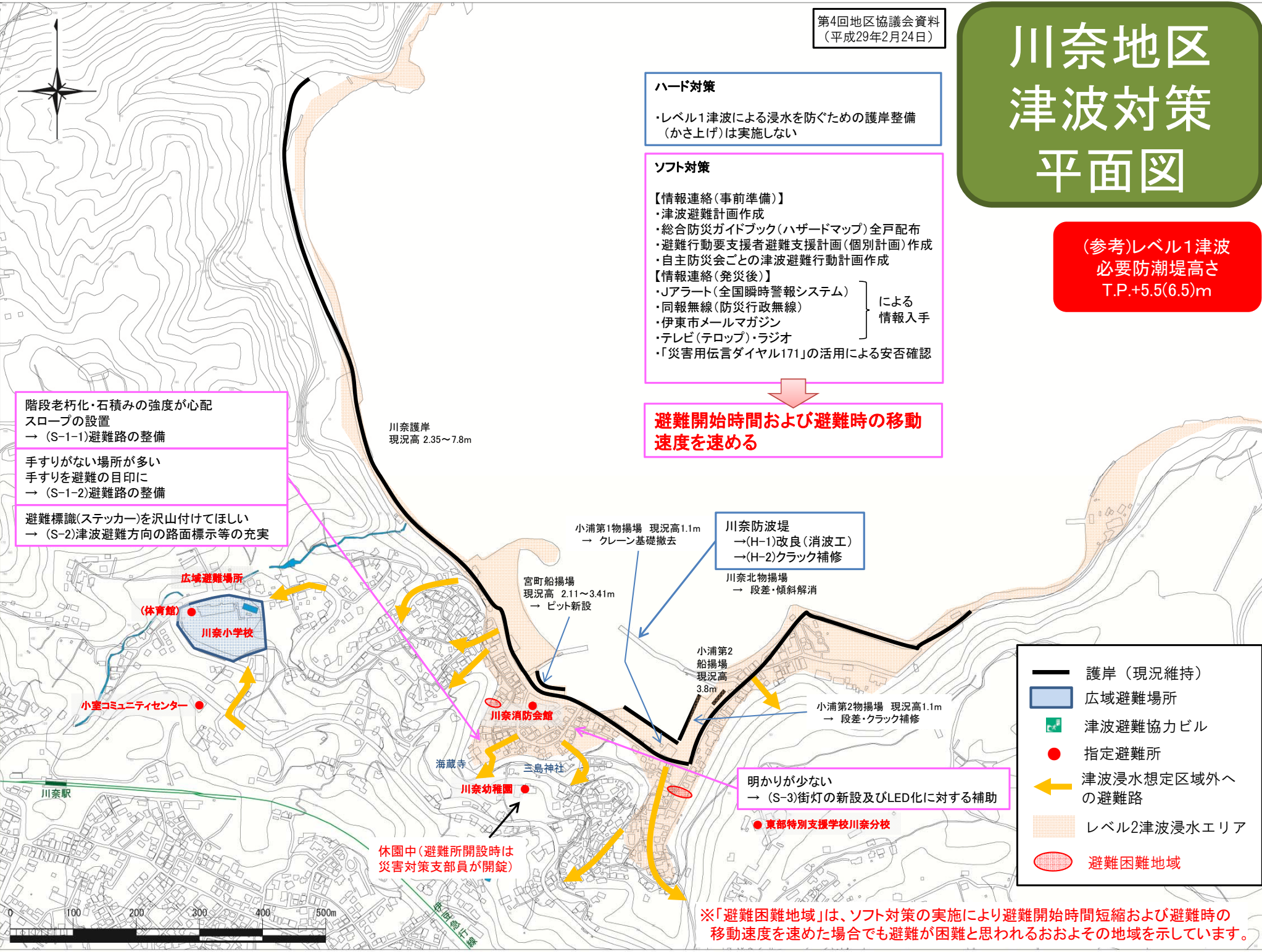
ソフト対策
【情報連絡(事前準備)】
・津波避難計画作成
・総合防災ガイドブック(ハザードマップ)全戸配布
・避難行動要支援者避難支援計画(個別計画)作成
・自主防災会ごとの津波避難行動計画作成
【情報連絡(発災後)】
・Jアラート(全国瞬時警報システム)
・同報無線(防災行政無線)
・伊東市メールマガジン
・テレビ(テロップ)・ラジオ
・「災害用伝言ダイヤル171」の活用による安否確認

**避難開始時間および避難時の移動
速度を速める**

階段老朽化・石積みの強度が心配
スロープの設置
→ (S-1-1)避難路の整備

手すりがない場所が多い
手すりを避難の目印に
→ (S-1-2)避難路の整備

避難標識(ステッカー)を沢山付けてほしい
→ (S-2)津波避難方向の路面標示等の充実



川奈護岸
現況高 2.35~7.8m

小浦第1物揚場 現況高1.1m
→ クレーン基礎撤去

川奈防波堤
→(H-1)改良(消波工)
→(H-2)クラック補修

川奈北物揚場
→ 段差・傾斜解消

宮町船揚場
現況高 2.11~3.41m
→ ビット新設

小浦第2船揚場
現況高 3.8m

小浦第2物揚場 現況高1.1m
→ 段差・クラック補修

明かりが少ない
→ (S-3)街灯の新設及びLED化に対する補助

休園中(避難所開設時は
災害対策支部員が開錠)

- 護岸(現況維持)
- 広域避難場所
- 津波避難協力ビル
- 指定避難所
- 津波浸水想定区域外への避難路
- レベル2津波浸水エリア
- 避難困難地域

※「避難困難地域」は、ソフト対策の実施により避難開始時間短縮および避難時の移動速度を速めた場合でも避難が困難と思われるおおよその地域を示しています。